

56 結核 核

1 結核の動向

(1) 結核死

わが国の結核事情は、全般的な公衆衛生の向上、予防対策の進展、化学療法を中心とする治療法の飛躍的な進歩等によって急速に改善された。結核の死者数は毎年1,600人、結核死亡率は人口10万対1.4と存しており、死因順位も20年以來第一位となつてゐる。年齢階級別に結核死亡率をみると、かつて青年層にみられた高い山は完全に消失し、高年齢層に高い先進国型となつてゐる。

死因順位の変動

「人口動態統計」より

年齢階級	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
	死因	率(10万対)	死因	率(10万対)	死因	率(10万対)	死因	率(10万対)	死因	率(10万対)
10-14	肺炎・気管炎	226.1	全結核	162.7	脳血管疾患	142.0	胃腸炎	132.8	老衰	131.0
15-19	"	162.0	"	220.2	胃腸炎	222.2	脳血管疾患	111.9	"	110.2
20-24	"	102.0	胃腸炎	214.2	全結核	222.7	心臓疾患	122.1	脳血管疾患	122.6
25-29	胃腸炎	221.4	肺炎・気管炎	200.1	"	122.6	脳血管疾患	122.8	老衰	122.8
30-34	全結核	221.9	"	122.2	脳血管疾患	222.7	胃腸炎	122.0	"	222.6
35-39	"	122.2	"	122.2	胃腸炎	132.2	脳血管疾患	122.4	"	122.3
40-44	"	122.6	脳血管疾患	122.1	肺炎・気管炎	122.2	胃腸炎	122.4	悪性新生物	222.4
45-49	脳血管疾患	122.1	悪性新生物	122.1	老衰	122.1	心疾患	122.9	全結核	122.3
50-54	"	122.7	"	122.3	"	122.5	"	122.1	肺炎・気管炎	122.3
55-59	"	122.6	"	122.1	心疾患	122.1	老衰	122.6	"	122.6
60-64	"	122.0	"	122.3	"	122.1	"	122.0	不慮の事故	122.1
65-69	"	122.5	"	122.6	"	122.2	不慮の事故	122.2	老衰	122.4
70-74	"	122.2	"	122.1	"	122.3	"	122.9	"	122.0

(2) 結核登録者

44年10月の結核登録者は107万人、そのうち結核患者は62万人（有病人口10万対657.4）、感染性肺結核患者は19万人と存している。また、44年の1年間に保健所に新たに登録された結核患者は、18万人（1000人対10万対172.3）、そのうち感染性肺結核患者は4万人である。

活動性肺結核新登録患者の年次推移

(単位人) 厚生省

	総数	感染性肺結核			非感染性	肺外結核	不明
		総数	空洞形成	慢性感染性			
36	419,004	96,403	12,412	84,000	219,541	18,009	46,607
38	371,020	90,963	8,467	82,496	249,221	20,095	16,332
40	304,116	57,191	1,446	55,745	206,314	33,004	7,606
42	213,981	42,073	3,200	38,873	173,882	28,906	3,641
44	199,890	40,121	2,169	37,952	134,432	21,966	1,301
45	128,940	21,000	4,396	16,604	112,007	20,066	668

(3) 大阪府の結核の動向

本府に於て44年12月現在の死亡率は（人口10万対）19.1であるが、これは全国平均17.7を±1回り毎日の4人近く上回る死者があり、大阪府が引き続き結核のまん延地域として危険視されている一要素である。

昨年現在、府内の保健所に登録されている結核患者は、
10万3,736人、患者登録率（人口10万対）は、13.92である。
しかしこれは保健所に登録されている患者のみであり、
未発見患者等登録されている患者も含めた府内の患者
総数を結核実態調査の結果等からみると、登録患者数の
約3倍、すなわちほぼ30万人と推計される。またこの中の
府内における新発生の登録患者数は、2万3,709人、登
録率（人口10万対）3.19となっている。この患者数は
よが新発生患者数は年々減少しているが、全国平均は、
患者登録率（人口10万対）1.13、新発生患者登録率（
人口10万対）1.95である。本府と全国との登録率を比較
すると、新登録率は、1.6倍、登録率は1.2倍となっ
ており、このようなことから大阪府は、わが国有数の結核多
発地でもあり、予防及び治療の諸対策に今後一層
積極的な強化施策を樹立し、結核事情を好転させるよう
各方面から強く望まれている。

大阪府の結核の状況 (7/1)

区 別	府 内			
	大 阪 府	府 内	大 阪 府	府 内
死 亡 者	1,424人	1,424人	2,209人	1,111人
死 亡 率 (1000人)	22.9	19.1	23.6	12.7
新 登 録 患 者 数	26,428人	23,707人	24,470人	19,870人
リ 患 率 (1000人)	163.6	312.6	266.6	122.7
登 録 患 者 数	225,101人	103,226人	1,207,627人	1,166,300人
登 録 率 (1000人)	1,920.0	1,370.7	1,571.9	1,126.2
治 癒 率 (%)	70.703%	68.227%	77.916%	72.410%
有 病 率 (1000人)	1,205.4	229.6	1,007.9	206.6
感 染 性 者 数 (高 齢)	23,117人	21,025人	26,997人	19,222人
有 病 率 (1000人)	360.9	222.3	267.6	192.6

(1) 大阪市の結核の動向

わが国の結核事情は、戦後急速に改善されてきた。しかし、なお多くの患者が存在し、しかも大都市や高齢者層など従来の対策が浸透しにくかった特定の地域や階層に患者が偏在化するなど困難な問題が集約化されつつある。このような事情のもとで結核の早期根絶を図るためには、対策の各分野に於て根本的な改善がなされるべきである。

大阪市の結核の状況

	治 癒	死 亡
40	1,279人	706人
41	1,683	777
42	1,312	763
43	1,196	721
44	1,080	685

第75表 入所命令患者施設別収容数及び比率

(昭和44年12月末現在)

施設別 患者区分別	総数	国立 療養所	公立 病院	内 訳		その他 病院	内 訳	
				甲	乙		甲	乙
総 数	(100.0)	(18.6)	(12.0)	(11.9)	(0.1)	(69.4)	(9.8)	(60.1)
	2,749	510	331	327	4	1,908	255	1,653
A 患者	(100.0)	(17.4)	(10.9)	(10.8)	(0.1)	(71.7)	(10.0)	(61.7)
	2,350	409	255	253	2	1,686	235	1,451
B 患者	(100.0)	(25.3)	(19.0)	(18.5)	(0.5)	(55.6)	(5.0)	(50.6)
	599	101	76	74	2	222	20	202

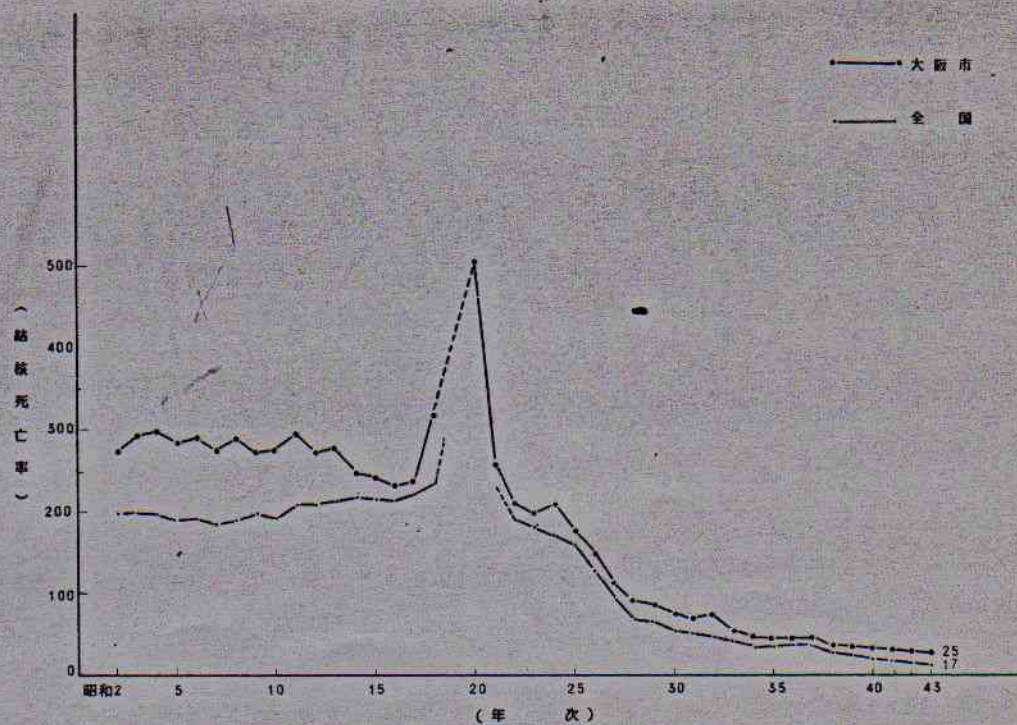
注 ()内は百分率

第76表 医療費公費負担事業費(法第35条)の請求件数及び支払額、月別

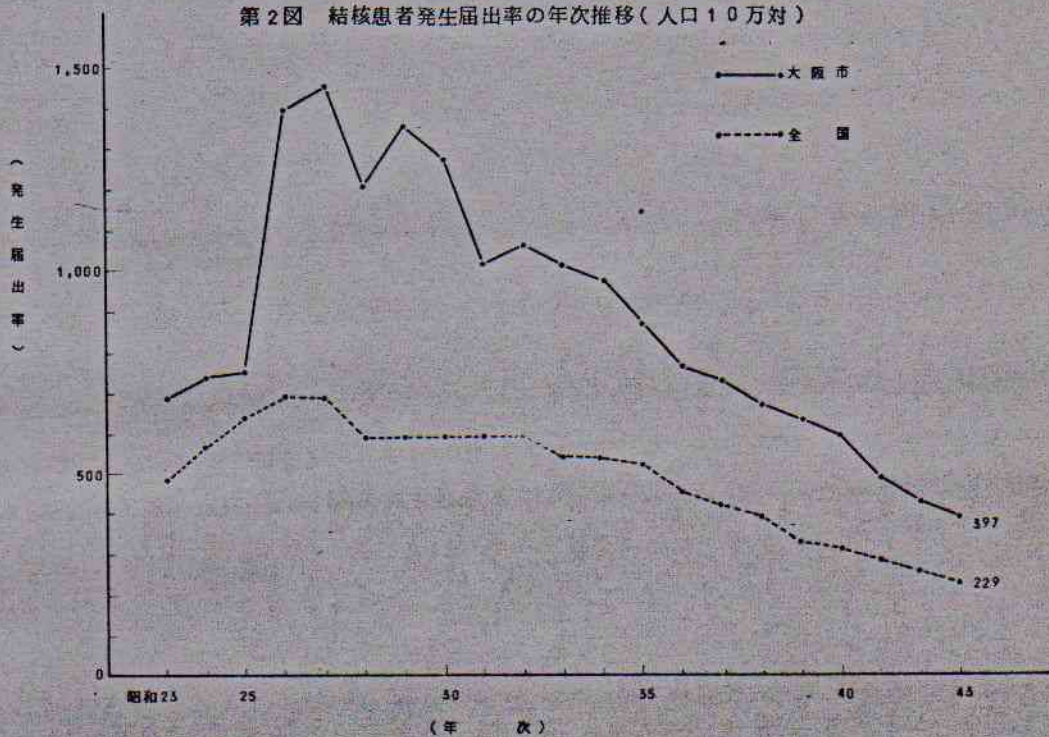
(44.4~45.3)

		請 求 実 件 数	支 払 額
総 数		34,483 件	1,579,682,004 円
44年	4月	(療養費払のみ80件)	1,704,325
	5	2,490	106,269,490
	6	2,917	125,818,020
	7	2,936	131,357,760
	8	2,945	132,499,670
	9	2,934	132,143,380
	10	3,012	140,008,116
	11	2,929	136,538,822
	12	2,968	136,956,646
45年	1月	2,924	131,960,507
	2	2,768	131,139,718
	3	2,855	132,312,023
	4	2,805	140,975,527

第1図 結核死亡率の年次推移(人口10万対死亡率)

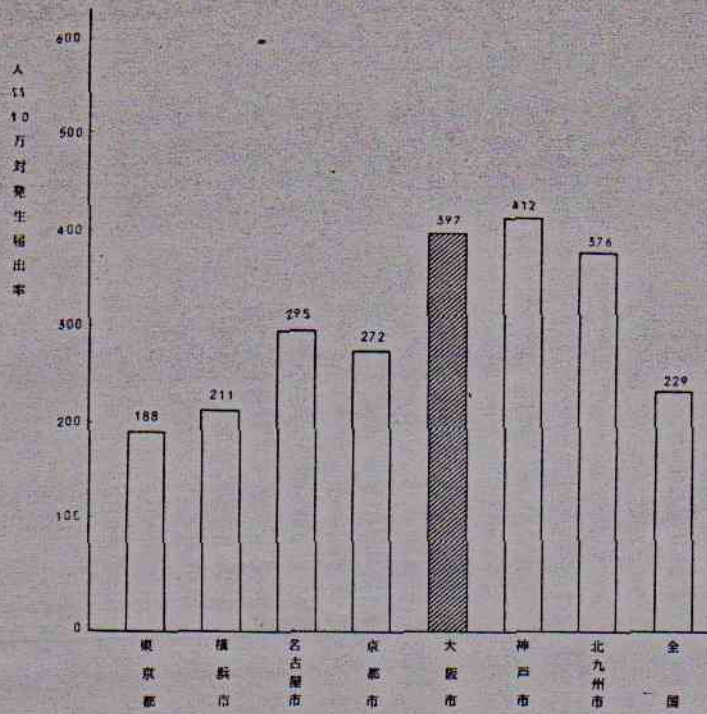


第2図 結核患者発生届出率の年次推移(人口10万対)

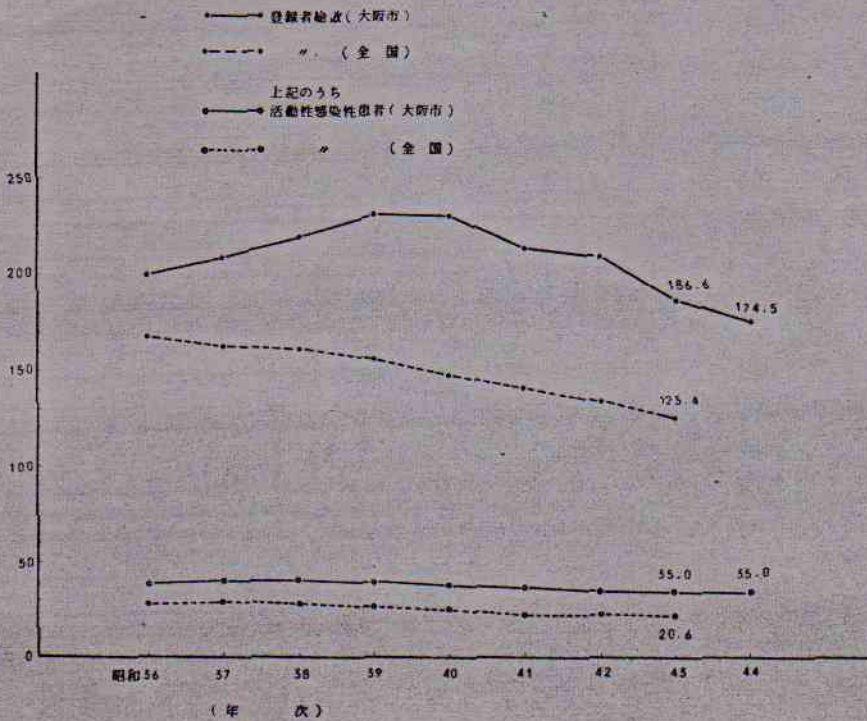


206

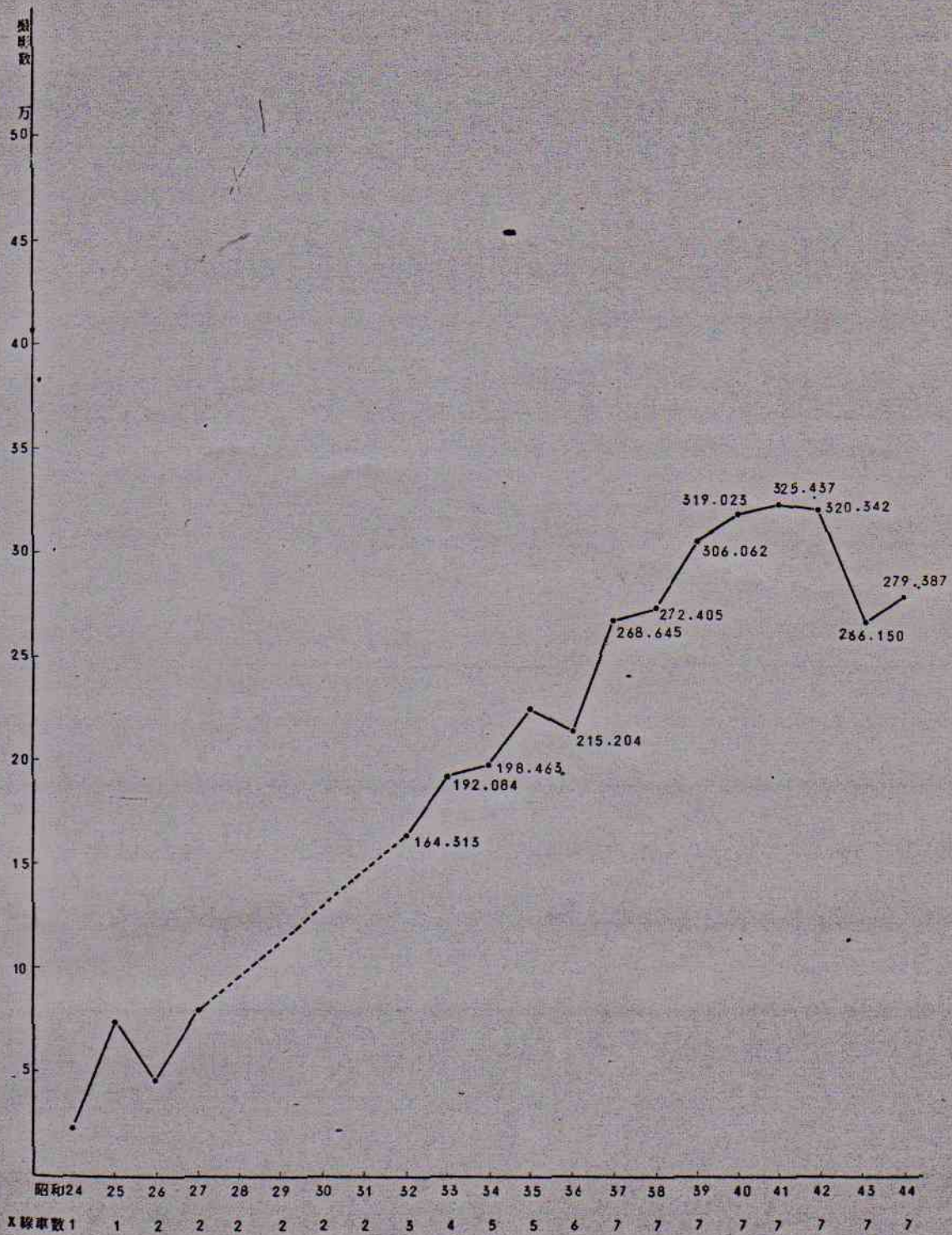
第3図 結核患者発生届出率、七大都市の比較(昭和43年)



第4図 結核登録者対人口比率の年次推移(人口万対)



第5図 エックス線検診車による撮影数の推移



- 新検査省分生届出数_{km}率. 七大都市(七市) (10.10.30.4)
- (衛生統計年報 544)

	実数	率
大阪市	11,969 [^]	397
東京都	16,923	188
横浜市	4,320	211
名古屋市	5,021	295
京都市	3,840	270
神戸市	5,117	412
北九州市	3,946	376

- 市内所在の病院 (病床 20床以上)
- (大阪市統計書 545)

	病 床 数				
	総数	精神	結核	伝染	その他
40	24,275	337	3,376	421	20,041
41	25,410	397	3,300	404	21,310
42	26,176	391	3,118	404	22,263
43	27,424	417	2,886	406	23,715
44	28,694	417	2,740	404	24,133

- 大阪府の結核の状況 (年統計)

	患者数	死者数	結核 (10.10.30.4)	
			大阪府	率
29	51,736 [^]	3,469 [^]	1147.5	173.0
30	43,000	3,000	1147.6	177.6
31	46,904	3,031	902.6	174.1
32	40,104	2,967	1044.2	171.9
33	42,082	2,506	944.2	160.1
34	41,722	2,416	871.6	157.7
35	43,027	2,160	741.7	144.2
36	37,095	2,223	161.0	441.9
37	37,416	2,276	604.2	407.4
38	36,207	1,930	596.1	396.8
39	34,936	1,371	111.0	361.8
40	33,027	1,811	496.1	320.6
41	30,202	1,719	441.8	287.3
42	26,719	1,513	360.6	261.2
43	24,106	1,404	304.8	207.8

結核死亡(率)・結核患者発生抽出率(率)

全国と大阪市の比較

(衛生統計時報 500)

年	実数				率			
	全国	人口 10万人	大阪	人口 10万人	全国	人口 10万人	大阪	人口 10万人
24	382,810	429	11,432	676	143,909	17.9	3144	12.6
25	464,702	562	13,433	733	130,113	16.8	3565	19.5
26	522,229	676	12,542	744	100,039	14.7	3231	16.7
27	590,662	692	29,122	1397	93,644	11.1	2770	13.3
28	626,651	626	31,925	1215	70,489	2.2	2236	10.2
29	605,731	523	29,044	1251	57,751	6.7	1922	2.3
30	622,116	593	20,261	1361	45,001	6.7	1979	2.2
31	617,437	579	32,197	1262	46,625	5.2	1757	6.9
32	612,142	574	26,222	1027	43,522	4.9	1637	6.3
33	620,741	573	27,022	1072	42,652	4.7	1702	6.3
34	672,736	493	22,154	1027	36,060	2.9	1445	6.2
35	697,273	532	27,591	963	20,942	2.5	1226	2.9
36	629,715	524	22,790	870	22,192	2.5	1166	2.9
37	620,260	446	22,449	762	27,241	2.0	1173	2.2
38	527,767	427	22,670	719	27,222	2.9	1215	2.9
39	522,622	296	21,775	621	23,129	2.4	1025	2.2
40	525,470	315	21,221	629	22,222	2.4	1022	2.3
41	516,006	321	12,769	575	22,259	2.2	1029	2.3
42	526,563	289	11,629	499	20,222	2.0	949	2.0
43	522,734	212	13,322	422	12,675	1.2	215	2.6
44	532,196	229	11,969	377	16,296	1.7	253	2.5

(1) 中央厚生相談所 (541.3.9 ~ 546.7.31) に係る
結核の実状

中央厚生相談所(以後中厚相)の相談者の20%以上
が愛隣地区に居住する労働者である為、同地区に於ける
結核の実状が大きく影響している。ここでは中厚相に限
っての資料をまとめ、大阪年に於ける労働者(単身労働

者の結核の傾向の一端を4月7日未までの資料で分析してみよう。

① 中重相に於ける相談者数の推移

相談者の全員に対し医療判定を行なつて保護決定を行なつてゐる。

○ 外来者総数と結核判定数の推移

区分 月	41年度		42年度		43年度		44年度		45年度		46年度	
	外来者 総数	結核 判定数	外来者 総数	結核 判定数	外来者 総数	結核 判定数	外来者 総数	結核 判定数	外来者 総数	結核 判定数	外来者 総数	結核 判定数
4	288	28	289	41	219	36	287	26	220	28	210	42
5	280	36	296	25	251	34	296	28	290	39	225	23
6	226	21	272	27	245	32	246	27	212	30	226	33
7	260	35	215	16	291	21	216	20	229	41	212	28
8	296	26	281	20	218	21	206	27	227	28		
9	292	26	266	24	293	23	219	29	227	27		
10	262	24	210	23	207	26	296	44	261	21		
11	337	29	216	21	212	29	209	26	216	22		
12	117	24	499	27	279	25	463	20	142	46		
1	227	20	276	29	297	23	246	25	266	28		
2	221	22	272	28	267	26	212	20	291	29		
3	210	23	221	26	218	27	229	23	294	26		
計	2928	227	2607	414	2119	271	2268	276	2723	204		

わづかながらではあるが、減少の傾向を示してゐる。

季節的な傾向としては、冬場時に12月に多く見られる。

② 結核の実態

全国の結核病床数をみると532年の263,000床をピークに減少し、利用率をみると又減少傾向を示してゐる。

る。一般に病床利用率は 20% 未満の状態にあるといわれ
 ている。昭和32年 20% から毎年 2% ずつ低下がみられる。
 3.

○ 病床数の年次推移 (TB 病室)

	全国病床数合計	大院内に於ける病床数	大院内に於ける病床数
昭和37	241,306	13,800	
38	235,110	13,709	
39	227,058	13,609	
40	220,757	13,188	3,376
41	211,527	13,106	3,300
42	204,946	12,819	3,118
43	196,000	12,097	2,886
44	188,000	11,508	2,743

(source: 昭和37年度 厚生省, 45年度以降)

○ 結核病床利用率と平均在院日数の推移

	利用率	平均在院日数
昭和34	91.3	383
35	78.1	328
36	77.7	323
37	80.0	319
38	79.8	384
39	78.2	396
40	75.4	409
41	73.8	407
42	72.0	416
43	70.0	411
44	67.9	396